

## 新見市職員の給与等の状況

### 1. 人件費（令和4年度 普通会計決算）

住民基本台帳人口 (令和5年3月31日)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費比率 B/A
人	千円	千円	千円	%
26,894	26,751,957	1,498,387	4,480,064	16.7

### 2. 職員給与費（令和5年度 普通会計予算）

職員数 A	給 与 費				1人当たり給与費
	給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B	B/A
人	千円	千円	千円	千円	千円
503	1,767,197	429,815	790,176	2,987,188	5,939

※職員手当には退職手当を含んでいません。

※給与費は当初予算に計上された額です。

### 3. ラスパイレス指数

区 分	新見市	全国
平成30年	97.8	99.1
平成31年	98.1	98.9
令和2年	98.6	98.9
令和3年	98.6	98.8
令和4年	98.5	98.7

(注) ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与水準を100としたときの給与水準を示す指数です

### 4. 職員の平均年齢・平均給料月額（令和5年4月1日現在）

(一般行政職)

平均年齢	平均給料月額
40.7 歳	304,500 円

(技能労務職)

平均年齢	平均給料月額
50.9 歳	249,800 円

### 5. 初任給（令和5年4月1日現在）

区分	初任給		2年後の給料	
	大 学 卒	高 校 卒	大 学 卒	高 校 卒
一般行政職	185,200 円	154,600 円	196,900 円	162,900 円
技能労務職	151,900 円	151,900 円	160,400 円	160,400 円

### 6. 等級ごとの職員数（令和5年4月1日現在）

(行政職給料表適用職員（技能労務職を除く）)

区 分	行政職給料表等級別基準職務表に規定する職務内容	職員数	構成比
1 級	主事補、技師補の職務 定型的な業務を行う主事、技師の職務	86	16.5
2 級	主事、技師の職務	108	20.8
3 級	主任の職務	110	21.1
4 級	係長、主査の職務	86	16.5
5 級	課長補佐、主幹の職務	60	11.5
6 級	課長、参事の職務	45	8.6
7 級	支局長、部次長、参与の職務	18	3.5
8 級	部長の職務	8	1.5
合計		521	100.0

(技能労務職給料表適用職員)

区 分	技能労務職給料表等級別基準職務表に規定する職務内容	職員数	構成比
1 級	自動車運転技術員、用務員、調理員、環境整備員、支援員	11	100.0
合計		11	100.0

7. 職員手当（令和4年度支給実績）

（期末手当） 2.4ヶ月 （勤勉手当） 2.0ヶ月

（退職手当）

区分	普通	応募認定(※1)・定年
勤続20年	19.6695 月分	24.586875 月分
勤続25年	28.0395 月分	33.27075 月分
勤続35年	39.7575 月分	47.709 月分
最高限度額	47.709 月分	47.709 月分
1人当たり平均支給額	2,749 千円	22,113 千円

※1 職員の年齢別構成の適正化を図ることを目的として行われた募集に応募し認定された退職

（特殊勤務手当）

支給実績（4年度決算）	1,930 千円	
支給職員1人当たり平均支給年額（4年度決算）	22,180 円	
職員全体に占める手当支給職員の割合（4年度決算）	17.8 %	
手当の種類（手当数）	9 種類	
手当の名称	主な支給対象業務	左記職員に対する支給単価
社会福祉主事手当	要保護者の調査、指導	日額200円
防疫等作業手当	伝染病の防疫、患者の収容	日額700円
死体処理手当	行旅死亡人の収容、処理	1回につき4,230円
火葬業務手当	火葬業務に従事	1体につき1,400円
	火葬業務に従事（夜間）	1体につき2,820円
野良犬等死体処理手当	へい死した野良犬等の死体処理	1件につき350円
保健指導業務手当	結核患者の家庭を訪問しての保健指導	月額1,430円
救急搬送業務手当	救急業務に出場し、傷病者の搬送作業に従事	1回につき300円
	上記の業務のうち、救急救命士の資格を有する者に限定された行為に従事	1回につき500円
救助作業手当	要救助者の救助作業に従事	1回につき300円
新型コロナウイルス傷病者搬送業務手当	新型コロナウイルス感染者の搬送	日額1,000円
	上記業務のうち、長時間にわたり従事	日額1,500円

（時間外手当）

支給実績（4年度決算）	90,696 千円
支給職員1人当たり平均支給年額（4年度決算）	186 千円

（その他の手当）

扶養手当	配偶者、子どもなどの区分により6,500～10,000円
住居手当	家賃の金額により28,000円まで
通勤手当	交通機関利用者は55,000円まで 自動車などの利用者は距離により2,520～50,000円
管理職手当	職級により28,000～52,000円

8. 特別職の報酬等（令和5年4月1日現在）

区分	給料月額等
給料	市長 830,000 円
	副市長 675,000 円
	教育長 610,000 円
報酬	議長 425,000 円
	副議長 355,000 円
	議員 330,000 円
期末手当	市長 副市長 教育長 (4年度支給割合) 4.05 月分
	議長 副議長 議員 (4年度支給割合) 3.0 月分
退職手当	市長 (1期支給率) 20月分 (支給時期) 任期ごと
	副市長 12月分 //
	教育長 9.2月分 //

※ 令和5年度の市長給料は、特例により10%減額（通常は830,000円）

9. 年齢別職員構成（令和5年4月1日現在）

区分	20歳未満	20歳～23歳	24歳～27歳	28歳～31歳	32歳～35歳	36歳～39歳	40歳～43歳	44歳～47歳	48歳～51歳	52歳～55歳	56歳～59歳	60歳以上	計
職員数	3人	28人	70人	50人	83人	49人	36人	64人	71人	40人	24人	9人	527人

10. 職員数の推移（4月1日現在）

	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年
一般行政	364	358	346	326	304	301	300	305	304	310	298
教育	153	143	135	93	91	90	89	85	80	74	86
消防	81	80	78	80	82	80	81	82	82	82	82
普通会計計	598	581	559	499	477	471	470	472	466	466	466
公営企業会計計	46	51	49	50	47	48	47	47	49	45	44
総合計	644	632	608	549	524	519	517	519	515	511	510

つづき

(単位：人・%)

	28年	29年	30年	31年	2年	3年	4年	5年	平成17年からの 増減数（率）
一般行政	298	295	297	305	299	302	315	316	△ 48 (△13.2)
教育	83	87	89	90	93	94	90	88	△ 65 (△42.5)
消防	81	84	83	83	83	83	83	83	2 (2.5)
普通会計計	462	466	469	478	475	479	488	487	△ 111 (△18.6)
公営企業会計計	45	45	44	42	42	42	40	40	△ 6 (△13.0)
総合計	507	511	513	520	517	521	528	527	△ 117 (△18.2)

11. 部門別職員数（4月1日現在）

区 分 部 門		職員数		対前年 増減数	主な増減理由
		令和4年	令和5年		
一般行政部門	議会	4	4	0	
	総務	99	99	0	
	税務	16	15	△ 1	育児休業復帰者の異動に伴う減員
	民生	83	87	4	学校給食共同調理場廃止に伴う配置換え
	衛生	29	28	△ 1	退職者不補充による減員
	農林水産	30	30	0	
	商工	13	13	0	
	土木	41	40	△ 1	建設課係統合に伴う減員
	小 計	315	316	1	
特別行政部門	教育	90	88	△ 2	学校給食共同調理場の廃止に伴う配置換え
	消防	83	83	0	
	小 計	173	171	△ 2	
公営企業等 会計部門	水道	11	11	0	
	下水道	10	11	1	金谷区画整理事業対応のための増員
	その他	19	18	△ 1	農業共済組合への派遣終了による減員
	小 計	40	40	0	
合 計		528	527	△ 1	

12. 職員の勤務時間（令和5年4月1日現在）

勤務時間
1日：7時間45分 1週：38時間45分

年次有給休暇取得状況
10.6 日

※令和4年平均取得日数

13. 職員の分限・懲戒処分の状況

分限処分	休職発令 3回（実数 2人）
懲戒処分	なし

※令和4年度実績

14. 職員の研修・勤務成績の評定

職員研修	10研修（延べ726人）
派遣研修	50研修（延べ231人）
勤務評定	自己申告票及び適性調査票、人事評価（全職員）

※令和4年度実績

15. 職員の福祉・権利保護

勤務条件に関する措置要求	なし
不利益処分に関する不服申立	なし

※令和4年度実績